

令和4年度 元気ふくしま・ふるさと寄附金 使途報告

寄附件数

4万628件

寄付金額

11億8,712万957円

寄附金額から募集に係る経費を除いた632,735,470円を各事業に活用させていただきました。

令和4年度も福島市を応援してくださる皆様から多大なるご寄附を賜り、様々な事業に活用させていただきました。

皆様からのご期待に応えられるよう、より一層努めてまいりますので、引き続き福島市への応援をよろしくお願い申し上げます！

令和4年度元気ふくしま・ふるさと寄附金活用実績

No.	応援メニュー	寄附件数(件)	寄附金額(円)	活用額(円)
01	桃だけじゃない「くだもの王国の農業」	8,568	240,949,410	128,426,036
02	桃源郷ここにあり「花見山と美しい環境」	836	23,091,000	12,307,503
03	教訓を生かした福島モデル「災害に強いまちづくり」	3,403	90,193,000	48,072,869
04	偉大な音楽家 古関裕而氏の故郷「音楽・文化があふれるまちづくり」	404	16,279,000	8,676,707
05	子育て・教育全力支援「子どもの夢を育むまち」	6,603	209,220,000	111,514,260
06	高齢者も障がい者も「誰にとってもやさしい社会」	1,078	35,649,000	19,000,917
07	福島県の顔つくります「にぎわいある県都づくり」	550	16,498,530	8,793,716
08	復興五輪開催都市レガシーを生かし「スポーツのまちづくり」	280	9,250,000	4,930,250
09	人も動物も幸せに「動物にもやさしいまち」	830	20,309,000	10,824,697
10	躍動する福島を世界に発信「ICT化と都市ブランド」	147	4,687,000	2,498,171
11	応援お願いします！「まだまだ復興福島市」	17,505	511,417,000	272,585,261
12	新型コロナウイルス感染症対策	271	8,682,017	4,627,515
13	令和4年3月福島県沖地震災害支援	153	896,000	477,568
	合計	40,628	1,187,120,957	632,735,470

寄附金の主な活用事業

01

「くだもの王国の農業」

果樹栽培施設の設置費用助成などにより、本市産農作物の販売拡大及び品質・ブランド力向上を図るとともに、降ひょう害や有害鳥獣、病害虫による被害対策に取り組みました。

■主な事業内容

- ・スイーツ・プレミアム事業
- ・気候変動対応型農業支援事業
- ・降ひょう害特別対策事業
- ・果実消費拡大事業
- ・新規就農拡大推進事業



首都圏でふくしまスイーツ・プレミアム販売会を開催

ふるさと納税バイブル(※)で寄附金の使いみち「凍霜害・ひょう害支援の取組み」が特集されました！
↓詳しくはこちら↓



※「ふるさと納税を、正しく伝えたい」の理念のもと、自治体とともにお届けする情報サイト



ひょう害りんごの直売会を開催

02

「花見山と美しい環境」

花見山周辺やふくしま花回廊の美しい環境を守るとともに、花見山の開花時期にはシャトルバス運行や出店環境を整備するなど、回遊を楽しめるようにしました。

■主な事業内容

- ・春の花見山おもてなし事業
- ・ふくしま花回廊推進事業

令和4年来訪者数：5万9千人
(R4. 3. 16~5. 6)

花見山シャトルバス運行



おもてなしの環境を整備



写真家の故・秋山庄太郎氏が「福島に桃源郷あり」と称賛した福島市の花の名所

右輪台山のしだれ桜



本市に数多く存在する、季節ごとにきれいな花々が咲き誇るスポットを「ふくしま花回廊」として魅力発信



寄附金の主な活用事業

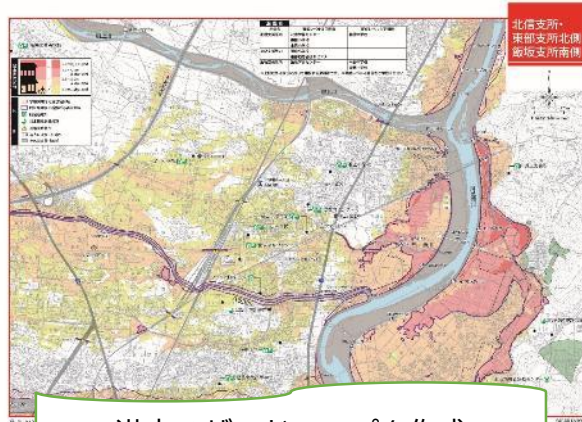
03

「災害に強いまちづくり」

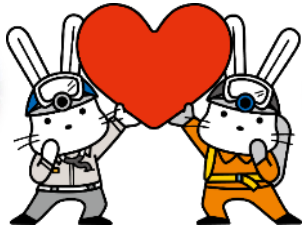
洪水ハザードマップ作成や避難所備品の購入など防災情報の発信力強化や施設の災害対策の充実に取り組み、災害に強いまちづくりを進めました。

■主な事業内容

- ・洪水ハザードマップ活用事業
- ・避難所開設運営
- ・常備消防自動車等整備事業
- ・非常備消防自動車等整備事業



洪水ハザードマップを作成



消防自動車等を更新し、災害対応・救急業務の充実を図りました！

04

「音楽・文化があふれるまちづくり」

古関裕而作曲コンクールを初開催したほか、まちなかでの音楽イベントを開催・支援するなど、官民一体となり古関メロディあふれるまちづくりに取り組みました。

■主な事業内容

- ・古関裕而を活かしたまちづくり



官民連携で古関メロディあふれるまちづくりを推進



第1回古関裕而作曲コンクールを開催



寄附金の主な活用事業

05

「子どもの夢を育むまち」

待機児童ゼロを続けるとともに、「子どものえがお条例」に基づき、地域全体でこどもの育ちを応援する取組を展開。特色ある幼児教育・保育や児童の意見を取り入れた学校リフレッシュなど、こども中心の事業に取り組みました。

■主な事業内容

- ・ 未来に輝く！ふくしまっ子プロモーション事業費
- ・ 幼児教育・保育無償化施設等利用給付
- ・ 待機児童解消促進事業

令和3年から待機児童ゼロを継続!!

「子育てするなら福島市」の実現に向け、取組みを拡充し推進！

心身・身体機能向上を目指すプロジェクト
～サッカーを通して育む人間力～



子どもたちの創造性や感性を育む施設の特徴ある取組みを支援する『特色ある幼児教育・保育プロジェクト』を展開中！

東北初！

日本子育て支援大賞2023
「自治体部門」受賞



地域全体で子どもを大切に
する風土が評価!!

06

「誰にとってもやさしい社会」

心のバリアフリー出前講座や手話出前講座など意識の普及を図ったほか、誰もが安心して暮らせるよう、公共施設のバリアフリー化や障がい者の社会参加促進に取り組みました。

■主な事業内容

- ・ バリアフリー推進事業
- ・ 意思疎通支援事業
- ・ 鉄道・バス等公共交通施設整備促進費

お互いを理解しあって
助け合えるようなやさ
しい心を育む「心のバ
リアフリー」を推進！



【JR東北本線 南福島駅へエレベーターを設置】



ハード・ソフト両面でバリアフリー環境を整備！

【小学生の点字講座(心のバリアフリー出前講座)】



寄附金の主な活用事業

07

「にぎわいある県都づくり」

「街なか交流館」を移設再オープンし、駅前地下歩道と一体的な活用を図るとともに、新まちなか広場をオープンし、街なかの賑わいを創出する事業を展開しました。

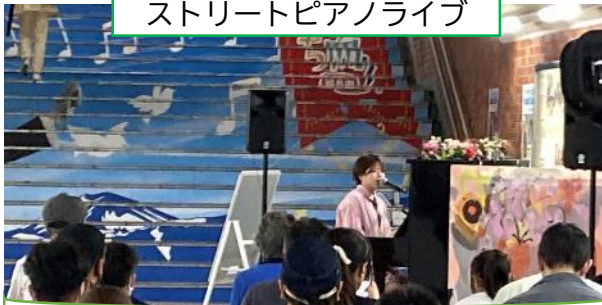
■主な事業内容

- ・街なか賑わい創出事業
- ・福島駅前交流・集客拠点施設



令和4年7月 新まちなか広場オープン！
多種多様なイベントを開催中！

ストリートピアノライブ



駅前地下歩道を活用したイベントを開催し街なかの賑わいを創出

トリックアート展



08

「スポーツのまちづくり」

東京2020大会のレガシーを活かし、日米対抗ソフトボールやパラスポーツ合宿等の誘致を図ったほか、市の中核的スポーツ大会として、ふくしまシティハーフマラソンの創設準備に取り組みました。

■主な事業内容

- ・オリ・パラレガシー事業
- ・スポーツコミッション運営事業
- ・ふくしまシティハーフマラソン事業費



スポーツ合宿・大会等を誘致



ふくしまシティハーフマラソン2023
プレイベントを開催し、大会の機運を醸成

- ◇あたたかいおもてなしを提供
- ◇本市の魅力为全国へ発信

令和5年5月21日
ふくしまシティハーフマラソン2023

初開催



約4,400名のランナーが街なかを走破！

寄附金の主な活用事業

09

「動物にもやさしいまち」

飼い主のいない猫の不妊去勢手術費助成や迷い犬等の捕獲・保管など保護動物の殺処分ゼロへ向けた取り組みを推進するとともに、ペット同伴避難所を充実させるなど、動物と共生できる環境を整備しました。

■主な事業内容

- ・動物愛護管理事業
- ・ペット同伴避難所



ペット同伴で避難が可能



飼い犬のしつけ方教室



小学校へ獣医師を派遣し、動物愛護を推進

10

「ICT化と都市ブランド」

市LINE公式アカウントによる情報発信・通報・申込システムを運用し市民の利便性向上を図ったほか、「福島市デジタル都市宣言」を行い、官民連携して本市デジタル化の取り組みをスタートさせました。

■主な事業内容

- ・ICT推進事業
- ・デジタル改革推進事業

デジタルで便利で豊かな新ステージへ ～福島市デジタル都市宣言～

デジタル化は、コロナ禍を機に、新しい生活様式として急速に進展し、変革・成長の原動力としてその加速が強く求められています。デジタルの活用は、一人ひとりのニーズにあった多様な選択を可能にするとともに、人手不足の解消、商品・サービスの開発・高度化、経営・財政の効率化に寄与します。福島市は、市民共創で、高齢者にもやさしいデジタル化を推進し、市民生活と地域活動の全体にわたってデジタル化を浸透させていきます。そして、人とデジタルの融合のもとで、市民生活をより便利で快適に向上させるとともに、産業振興など地域の活性化を図り、持続的に発展する都市を形成していきます。福島市は、次の3つの戦略に基づき、「デジタルで便利で豊かな新ステージ」を目指すことをここに宣言します。

【デジタル都市に向けた3つの戦略】

- 1 デジタルを活用した市民サービスの向上と行政の高度化・効率化
- 2 デジタルを活用した市民生活を豊かにするまちづくりと産業振興
- 3 市民共創で高齢者にもやさしいデジタル化

令和4年11月30日
ふくしまデジタル推進協議会 会長
福島市長 木幡 浩



令和4年11月 「デジタルで便利で豊かな新ステージ」を目指すデジタル都市宣言

市・団体・企業・大学等
が一体となり、各分野及び
地域全体のデジタル化
を推進していきます。

寄附金の主な活用事業

11

「まだまだ復興福島市」

温泉街の活性化や大震災で受けたダメージを回復する事業に活用していくほか、風格ある県都にふさわしい福島駅前のまちづくりや移住定住の促進策など他の項目で紹介している事業に活用できる財源とするため、「復興基金」に積立し、次年度以降の各事業へ継続的・計画的に充ててまいります。

■主な事業内容

・復興基金積立金

※令和4年度は、福島駅東口地区市街地再開発事業等へ充当



市内の学生たちが、再開発工事期間中の賑わいづくりのため、オリジナルのデザイン画を作成しました。



12

新型コロナウイルス感染症対策

感染防止対策を徹底するとともに、新たな生活様式に対応したビジネスモデルに取り組む事業者や、街なか空き店舗への新規創業を支援しました。

■主な事業内容

- ・新たなビジネスモデル創出支援
- ・街なか再生リノベーション事業
- ・各施設感染防止対策



空き店舗が増大した中心市街地の再生を図りにぎわいを取り戻すため、リノベーションして開業する事業者を支援



13

令和4年3月福島県沖地震災害支援

令和4年3月発生 of 福島県沖地震で被害を受けた保健福祉センターや農業施設等の公共施設の復旧に取り組みました。

■主な事業内容

・災害復旧